

令和6年度外務大臣表彰

令和6年8月9日

8月8日、令和6年度の外務大臣表彰式が実施され、ベネズエラからは、各分野での活躍により日ベネズエラ友好関係を促進した顕著な功績を称え、以下4名が外務大臣表彰を受賞しました。

- サンドロ・オラマス・宗心 表千家茶道講師
- ラファエル・アントニオ・パチェコ・エルナンデス ベネズエラ合気道呼吸法道場道場長
- マリア・ドロレス・プエルタ ベネズエラ囲碁協会会長
- 村木 貞夫 リベルタドール市交響楽団財団会長

外務大臣表彰は、多くの方々が国際関係の様々な分野で活躍し、我が国と諸外国との友好親善関係の増進に多大な貢献をしている中で、特に顕著な功績のあった個人および団体について、その功績を称えるとともに、その活動に対する一層の理解と支持を国民各層にお願いすることを目的としています。

在ベネズエラ日本国大使館は、この度外務大臣表彰を受賞された方に対して、二国間関係の発展における多大なる貢献への深い感謝の意を表します。

[令和6年度外務大臣表彰（外務省 HP リンク）](#)